

六条大麦「カシマゴール」の出芽期、茎立ち期、出穂期、成熟期予測法



農業総合センター農業研究所

麦類の高品質安定生産には、生育ステージに応じた適正な栽培管理が重要となります。そこで、麦茶用六条大麦準奨励品種「カシマゴール」について、除草剤散布の目安になる出芽期、麦踏みの晩限で追肥時期でもある茎立ち期、追肥・赤かび病の防除時期判定に必要な出穂期、適期収穫の目安になる成熟期を予測する技術を開発しました。

出芽期・茎立ち期は積算気温から簡易に予測

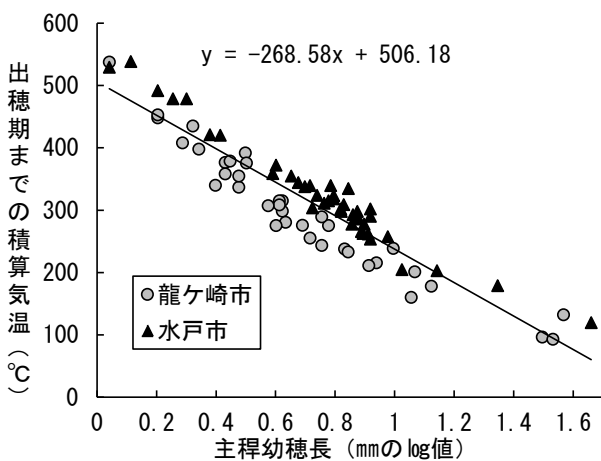
出芽期は播種後の積算気温で 105.8℃、茎立ち期は出芽期からの積算気温で 556.3℃となる日です。これを利用し、最寄りのアメダスデータ（気象庁発表）から 0℃以上となる日平均気温を積算することで、簡易に予測することができます。

※出芽期：播種粒数の 40～50%が出芽した日

※茎立ち期：主稈長が 2 cm になった時期



主稈長および幼穂長



主稈幼穂長と出穂期までの積算気温の関係 (H22～25年度)

茎立ち期や出穂期は、主稈長・主稈幼穂長を測定することで、精度高く予測できる

主稈や幼穂は、主に気温によって伸長します（左図）。これを利用し、茎立ち期や出穂期に到達するまでに必要な残りの積算気温を計算することで、精度高く予測することができます。

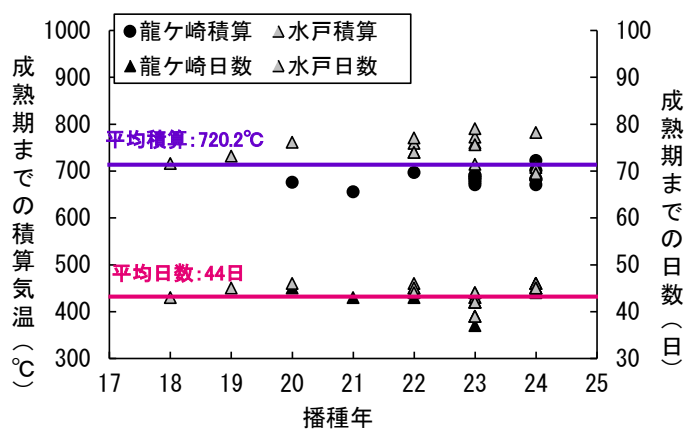
実際の予測には、表計算ソフトが利用できます。予測用ファイルは、「茎立ち期予測用」と「出穂期予測用」がありますので、農業研究所ホームページからダウンロードしてください。

※出穂期：全茎の 40～50%が出穂した日

成熟期は出穂期後の積算気温あるいは日数で予測

成熟期は出穂期後の積算気温では 720.2℃、出穂後日数では 44 日となる日です。出芽期・茎立ち期予測と同様に、日平均気温を積算して予測してください。

※成熟期：茎葉や穂首が黄化し、穂軸や粒からは緑が抜け、粒にツメ跡が僅かにつく固さに達した穂が全穂数の 80%以上に達した日



出穂期から成熟期までの積算気温・日数

成果を利用する際の留意点

・栽培場所がアメダス観測地点から遠い、極端な早播きや晩播、湿害・病虫害等により生育に異常が認められる場合には、予測精度が劣る可能性があります。